

公開しなければならない臨床研究

研究課題名	びまん性肺疾患における経気管支凍結肺生検法による 病理診断の診断精度評価
代表機関	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 病理診断科学
研究代表者	福岡 順也
本学研究責任者	久留米大学医学部内科学講座 呼吸器・神経・膠原病内科部門 財前 圭晃
研究機関	本研究は長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 病理診断科学講座を中心に全国の約5施設で実施します。 詳しい研究機関についてお知りになりたい方、使用されることについてご了承頂けない場合は下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。
研究期間	久留米大学病院長許可日～2022年12月31日
研究目的と意義	目的： 診断において病理組織検査が重要なびまん性肺疾患において、各疾患/病型における経気管支凍結肺生検法（TBLC）の診断精度を明らかにします 意義： 診断精度と患者への侵襲を考慮した肺生検手技の選択が可能となります
研究内容	<p>●対象となる患者さん 2018年1月1日～2021年6月31日の間に、通常診療において当院より長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病理診断科学講座にTBLC病理組織標本のコンサルテーションが行われた患者さん</p> <p>●利用する情報 ・患者背景：年齢、性別、診断（病名）、 膠原病を示唆する身体・血液・画像所見の有無 ・病理診断情報：病理診断、鑑別診断、診断確信度 本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。</p> <p>●研究の概要・方法 本研究では、当院より長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病理診断科学講座にコンサルテーションされた、びまん性肺疾患が疑われてTBLCが実施された症例において、その病理診断報告書より病理診断名および診断確信度の情報を提供します。また、当院において実施された臨床・画像・病理の統合診断（病名）を長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病理診断科学講座に提供</p>

	し、この診断を正解としたときの各疾患／病型における TBLC 病理診断の診断精度（陽性的中率、陰性的中率）を比較検討します。
問い合わせ先	【研究責任者】 氏名：財前 圭晃 久留米大学医学部内科学講座 呼吸器・神経・膠原病内科部門 住所：久留米市旭町 67 電話：0942-31-7560（内線 3685） 受付時間：月～金 9：00～17：00（祝・祭日を除く）